

全学年 「技術・家庭科」

1 学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

2 評価の観点・方法

技術・家庭科は、「技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力」、「生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについての基礎的な理解と、それらに係る技能」等の観点で評価します。

①知識及び技能

実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主にレポート、学習プリント、テストなどを評価します。実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうか評価します。主に学習経過における技能の習熟状況、完成した作品の状況などにより多面的に評価します。

②思考力・判断力・表現力

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を評価します。主に課題解決策を構想し、製作図などの表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなどのより、多面的に評価します。

③学びに向かう力

よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度などを重視して評価します。主に作業や実習、実習計画立案への積極性、毎時間の学習への取り組み状況、学習プリント・ノートや作品の提出状況、レポートや家庭での実践記録などを評価します。

3 学習のポイント

○学習した内容を実際の生活で活かす場面を設定し、自分の生活が社会と関わっていることや、自分が社会に参画し貢献できる存在であることを認識する。

4 学習内容と学習のねらい

「技術分野」

A 材料と加工の技術

- (1) 生活や社会を支える材料と加工の技術
- (2) 材料と加工の技術による問題の解決
- (3) 社会の発展と材料と加工の技術

B 生物育成の技術

- (1) 生活や社会を支える生物育成の技術
- (2) 生物育成の技術による問題の解決
- (3) 社会の発達と生物育成の技術

C エネルギー変換の技術

- (1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術
- (2) エネルギー変換の技術による問題の解決
- (3) 社会の発達とエネルギー変換の技術

D 情報の技術

- (1) 生活や社会を支える情報の技術
- (2) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決
- (3) 計測・制御のプログラミングによる問題の解決
- (4) 社会の発展と情報の技術

「家庭分野」

A 家族・家庭生活

- (1) 自分の成長と家族・家庭生活
- (2) 幼児の生活と家族
- (3) 家族・家庭と地域との関わり
- (4) 家族・家庭生活についての課題と実践

B 衣食住の生活

- (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴
- (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事
- (3) 日常食の調理と地域の食文化
- (4) 衣服の選択と手入れ
- (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
- (6) 住居の機能と安全な住まい方
- (7) 衣食住の生活についての課題と実践

C 消費生活・環境

- (1) 金銭の管理と購入
- (2) 消費者の権利と責任
- (3) 消費生活・環境についての課題と実践